

令和2年度

当初予算の特徴

南九州市では、将来都市像である「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち南九州市」を目標として掲げ、南九州市総合計画に基づきまちづくりを進めています。ここでは、令和2年度の当初予算の特徴について新規事業を中心に紹介します。



子育て支援の充実

1 子育て世代包括支援センター事業

【168万円】

子育て世代包括支援センターを設置し、地域の特性に応じた、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を提供します。

2 学校給食費補助事業

【3939万円】

児童・生徒の学校給食費の一部を助成し、子育て世代の負担軽減を図ります。

産業の振興

1 全国お茶まつり鹿児島大会事業

【318万円】

本市で開催される第74回全国お茶まつり鹿児島大会を契機に、生産技術のますますの向上と知覧茶ブランド力の強化を図ります。

教育環境の充実

1 市内高等学校活性化事業

【772万円】

各校活性化協議会の活動費を補助するとともに、在校生が受検する各種検定の受検料の一部を助成することで、地域の活性化と人材育成を目指します。

2 デジタル教科書活用推進事業

【1585万円】

デジタル教科書の導入により、児童・生徒の学習内容に対する意欲の向上と、多面的・多角的な視点での思考の醸成を図ります。

住みやすいまちづくり

1 集落支援員設置事業

【350万円】

市内各地区の状況を把握し、地域力の維持・強化を図ることを目的とした集落支援員を1人増員し、地域自治組織の機能強化を図ります。

2 防犯関係対策事業

【181万円】

市内の主要交差点などへの防犯カメラ設置や通学路の照明設置など、安全で安心なまちづくりを推進します。

3 光ブロードバンド整備事業

【3億1400万円】

光ブロードバンドサービス未提供エリアにおいて、通信事業者が整備する光ファイバー網の費用の一部を負担し、市内における情報通信格差の解消と市民や事業所の利便性向上を図ります。

市の魅力発信

1 地域ブランディング事業

【253万円】

南九州市の魅力を紹介する統一デザインのグッズ制作や、地域ブランドを育てるための市民向けセミナー、情報発信セミナーを開催します。

2 首都圏における知覧茶ブランド力強化対策事業

【2942万円】

首都圏をターゲットに「お茶のまち・南九州市」としての知名度（ブランド力）の向上を図るため、他産業と連携した新商品開発や知覧茶産地ツアーの開催などに取り組みます。